

【ヤコブの手紙 1 章 21～22 節】 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。

今日は、「みことばを聞くこと」と「みことばを行うこと」をテーマにお話しします。「すべての汚れやあふれる悪を捨て去り」では、「主の^{みこころ}御心でないものは取り除きなさい。」と命じられています。つまり、主から祝福された信仰の歩みをするポイントは、主の御心を行うことにあると語られています。また、「心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。」では、「主の言葉を信じて、信仰の歩みをするときに、主からの祝福を受けることができる。」ことが語られています。さらに、「みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」では、「主を信じて、主のみことばに聞き従っていくように」と、私たちクリスチャン一人一人が、聞き従いの信仰により、主からの祝福を豊かに受けるようにと強く勧められています。

さて、「ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。」(ヤコブ 1 : 25)の聖書箇所においても、主に聞き従っているならば、主の御心を実行することになり、主の祝福を受けるものとなると語られています。ですから、私たちは、信仰により忍耐して、主に聞き従い、(教会全体でも、個々人においても) 主が定められた主の時に、主の一方的な恵み、祝福を受けて、主の栄光の^{みわざ}御業をみてまいりましょう。